

Narajaisc

Newsletter September 2024 vol.76



キャリアデザイン・ゼミナールB(76)

国際交流インターンシップ

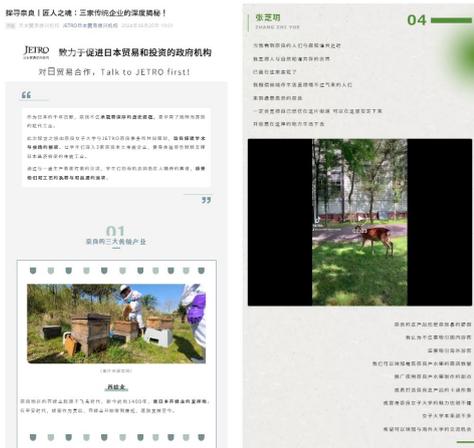
Nara ISC 奈良女子大学 ✦ JETRO奈良人材育成

8月19日～9月20日に、ジェトロ奈良と、奈良県内の企業3社（ヤマヤ株式会社：靴下の製造販売、岩崎工業株式会社：プラスチック・樹脂製品の製造販売、株式会社やまと蜂蜜：ポーションパックの受託充填OEM製造）のご協力のもと、奈良女子大の学生を対象としたインターンシップを実施しました。今回は、研修中に協力企業を

実際に取材し、撮影・執筆・編集をし、協力企業の商品や企業理念についてのSNSコンテンツ（文章や写真、動画）の作成（ジェトロ上海事務所のSNSにて配信）、最終日にプレゼンテーションを行いました。The Center organized student internships at three local companies: Yamaya Co., Ltd (manufacturing and sales of socks), Iwasaki Industry Inc. (manufacturing and sales of plastic and plastic products), Yamato Honey Co., Ltd (original equipment manufacturing of portion packs) in cooperation with JETRO Nara from August 19 to September 20.

Both Chinese and Japanese interns worked together to make promotional materials on the products and corporate mottos. The interns visited the enterprises to explore the factories and meet the managers in order to make short movies giving a fresh impetus to a new market. JETRO Shanghai played a key role to spread by SMS in China. Such advertisements of a new kind were also presented to the local companies, JETRO Nara and the Center to end the internship.

WeChat(微信)及び、RED(小紅書)のJETRO上海が運営するアカウントにて、プログラム紹介や協力企業の紹介、学生が作成した自己紹介や企業訪問などのコンテンツを、中国語で配信しました。配信したコンテンツはSNSユーザーによる投票が行われ、JETRO上海スタッフによってアクセス数やコメント数、内容、構成など分析され、最終日に発表されました。



WeChat(微信)



RED(小紅書)



◆◆◆参加学生の感想◆◆◆

(録音より文章をおこしているため実際の表現と異なる場合があります)
・楽しかったです。特別な経験になりました。・第二外国語で中国語を学んでいたが、今回の研修で中国語が上達した。・学生という立場でプラスチックを使うことはすごく多いですが、プラスチックがどんな風に作られているとか全然しらなかった。プラスチックが良くないと言われる中で、どんな風に工夫をされているのかというのも、全然しらず、研修を通して卵の殻とかを使われていると知りました。色んな可能性があるんだな、というのを感じましたし、今まで考えたこともなかったので、おもしろいな、と思いながらインタビューさせてもらっていました。

9/20(金)の最終日は、ならまちにある「菩薩カレー」にてプレゼンテーションを行いました。



課題解決型インターンシップ

研修サポート：株式会社エイチ・アイ・エス

9月9～13日、17日に、株式会社エイチ・アイ・エスによる研修サポートのもと、株式会社 空土（農産物の生産・販売）にご協力いただき、現地研修と課題解決に取り組むインターンシップ（文化交流グループワーク&フィールドワーク）を実施しました。アドバイザーとして奈良県農業法人協会、日本政策金融公庫の2団体にもご協力いただきました。インターンシップでは、留学生・日本人学生が3つのグループ（Aグループ、Bグループ、Cグループ）に分かれて、フィールドワークを通して実際の稲刈りを体験し、今回の課題である、空土のお米を使った「新たな商品」「新たな魅力」「保存食」の提案に取り組みました。最終日にはグループごとに立案した商品についてプレゼンテーションを行いました。

Ours students made an internship program based on off-campus field work including intercultural exchange and group discussion in corporation with Kudo Corporation specialized in marketing agricultural products on September 9-13 and 17. Two advisors, Nara Prefecture Agricultural Corporation Association and Japan Finance Corporation also joined to run the program.

Both international and Japanese interns worked in three groups to propose new products, new attractions, and preserved foods, all of which should be made of Kudo's rice. They made excellent presentations on the last day of the internship.

9/10(火)は現地に赴きフィールドワークをおこないました。
手で稲刈りを体験した後、コンバインにも乗せていただくことができました。



各グループが課題解決に向けて、意見やアイデアを出し合い、試行錯誤しながら課題に取り組んでいました。



◆◆◆ 株式会社空土様からのご感想 ◆◆◆ (研修後いただいた各グループへの感想より、Bグループの感想を抜粋)

主に既存商品の売り出し方を思案いただいてありがとうございます。一から商品を作るのではなく、既に売っているよその会社の商品を使って如何にして形を作るか、かえて非常に難しかったと存じます。

それでも、魅力を最大限に、かつ現実性も考慮しながら細部に至るまで考案していただいた商品はどれも素晴らしく感銘を受けました。デザインやキャラクターもかわいらしくて素敵です。実は米や茶のギフト商品については、以前より進めつつある案があるので、皆さんにご提案いただいた内容を取り入れながら改良できればと考えております。今後マルシェ等に参加する際も皆さんのご提案を参考にしつつ、「奈良のお米」、できれば「奈良の空土のお米」を多くの方に知ってもらえるようなPRをもっと考えていきたいと思ひます。

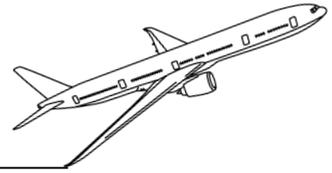
9/17(火)の最終日は、国際セミナー室にて企画商品のプレゼンテーションを行いました。協力企業・団体の皆さまにもオンラインでご参加いただき、審査の結果、Bグループが最優秀に選ばれました。



交換留学にいきました。

帰国後レポート

Exchange Program
Reports



文学部 人文社会学科 3年（留学時）久田 琴音

東海大学（台湾） 留学期間：2023/9/1～2024/6/30

<東海大学を選んだ理由>

東海大学の環境に惹かれ選びました。東海大学は、台中という台湾の中部にあり、雨が多い台北に比べて、天気がとても良いです。留学期間中に台中で雨に降られたことは、数回しかありません。また、キャンパスは大きく、自然に溢れています。さらに、総合大学であるため、私が学びたかったジェンダー分野以外にも、幅広い授業を履修できることも魅力的でした。



<他の国の人と交流>

台湾の学生と、交流する機会は沢山ありました。東海大学には、日本語学科があるため、日本語を学びたい学生が多く、言語交換の相手を見つける事ができます。また、日本人と台湾人の交流のイベントを日本語学科の学生ボランティアが開催しており、友達を作りやすい環境でした。さらに、授業や寮の中でも、現地の学生と交流する機会があります。入寮した日に、たまたま荷物を運ぶのを手伝ってくれた台湾人の学生とそのルームメイト達と仲良くなり、留学期間はその子たちが色々な場所に旅行に連れて行ってくれました。このように、思いもよらぬ縁から、友達の輪が広がりました。また、台湾以外の学生との交流もありました。私は、午前中大学内の語学センターで授業を受けていました。クラスメイトには、色々な国から来た生徒がおり、その中でも私は、韓国人の子と仲良くなりました。初めは、慣れない中国語でのコミュニケーションだったので、意思疎通が難しいと感じることはありましたが、慣れると中国語でお互いの言語を教え合ったりしました。おかげで、少し韓国語も学ぶことができました。彼女とは、今でも交流があり、韓国旅行に行く際にまた会うことになっています。



<留学生への手厚いサポート>

東海大学の国際課の先生はとても優しく、病気にかかった時や、困ったことがあった時は連絡をすると、すぐに連絡をくれ、対応してくれました。また、留学生が無料で行ける旅行や、現地の学生と交流できるイベントをたくさん企画してくれます。さらに、パティ制度があり東海大学の学生が、ご飯に連れて行ってくれたり、生活のサポートしてくれます。

<留学を終えて>

台湾の人はみんな暖かく、なにか困ったことがあるとすぐに助けてくれます。親日の国であるため、日本を好きな人が多く、日本人が留学しやすい国だと思います。中国語圏に留学しようとしている人にはぜひ台湾への留学をおすすめしたいです。私は入学したときから漠然と留学したいという思いがあり、思い切って留学を決意しました。留学に行くにあたって、私は2つの目標を掲げていました。「現地の学生とたくさん交流すること」と「卒論の調査を行うこと」です。目標を決めたことで、充実した留学生活になったと思います。また、大学3年生からの留学だったので、留学期間中は、将来について考えさせられることも多かったです。その際に、留学生の仲間や台湾の学生の考えが参考になりました。特に台湾の学生は、卒業した後に、時間をかけて自分のやりたい事を見つけて、それぞれのタイミングで就職活動をします。日本から出て、様々な国の考えを知ることが出来るのも留学の醍醐味です。留学の経験を生かして、自分が後悔しないような将来に進んでいきたいと思っています。



この国の、この大学で、こんな勉強がしたい！
具体的にイメージできてきたけど…これで悩んでいます…

留学相談フォームへ。 予約制です。



<留学先の決定>

私は高校生の頃から漠然とした海外への興味があり、大学入学後は留学してみたいという思いがありました。留学というと一番はじめて出てくる言語が私にとって英語であり、英語が得意ではあったため英語圏の国への交換留学を初めは検討していました。しかし、留学を検討していく中で単に「英語圏だから」という理由で行き先を検討する自身に疑問をもち、考え直しました。そこで以前より韓国ドラマが好きであり、韓国の人や文化に興味があったため、韓国を留学先に決めました。本当に現地に行き、深く知りたいと思っている国は韓国ではないかと思ったからです。留学先を韓国に決定後、韓国語の勉強を独学で行い、渡韓前には留学に必要な水準の韓国語能力を身につけました。

写真：梨花女子大学



<英語&韓国語の留学生活1学期目>

1学期目は英語と韓国語の授業の両方を受講し、日常生活でも英語・韓国語の両方を使っていました。梨花女子大学は英語の授業が多く開講されており、留学生は韓国語が出来なくても留学できる環境のため、英語のみで会話をする友人も多くいました。そのおかげで、韓国語だけでなく英語のスピーキング力を高めることが出来ました。ウェルカムパーティーなど、留学生向けのイベントでは基本的に英語を使用するため、そのような場所になれていない私にとっては緊張することばかりでしたが、色々な国の学生と話をしてコミュニケーションを取りたいという思いから、積極的に集まりに参加して交流を深めるように心がけました。流暢に話すことはできなくても、とりあえず伝えようという意志を持って実践していくこと。これが本当に大切だと痛感しました。こういった甲斐あって、色々な国の友人ができ、彼らから多くの刺激をもらいました。渡韓後3ヶ月ほど経った頃には韓国語の会話力もつき、韓国人の友人も増えました。ただ単に授業を受けているだけでは友人を作ることは難しいので、サークル活動への参加や、掲示板に「言語交換をしてくれる人を募集します」と書き込みをするなど、試行錯誤して人と会う機会を作り、韓国語が上達するように努力しました。



写真：済州島

<より学びを深めた留学生活2学期目>

留学2学期目は1学期目よりも韓国語が上達し、出来ることが増えたため、1学期目とは違った面白さがありました。大学の授業をより理解することができるようになり、さらに深みのある勉強が出来たのではないかと思います。具体的には「都市空間文化で読む韓国史」や「北朝鮮の人々の文化と生活」などの授業を受講し、「韓国人の視点」から学問をすることで理解が深まったと感じています。また友人と込み入った話ができるようになったのも2学期目でした。親しい韓国人の友人と性差別の問題について議論したり、日韓社会の違いについて話したりしたことはとても印象に残りました。

<留学を振り返って>

留学中は勉強だけでなく、韓国内をたくさん旅行して済州島や全州、釜山などに行きました。旅行先で地元の人に話しかけてもらい話をすることも多く、韓国人の温かさを感じると共に言語の重要性を実感しました。言語を修得することで会話ができ、会話によりその地域の文化や社会への理解が深まります。大学生の間にこのような留学の経験が出来たことに感謝し、これからは自身の経験を社会に還元出来るよう頑張りたいと思います。

写真：漢江



▶ CotoQueイベント・他センター主催イベントの実施報告

- ・7/2「交換留学報告会 -ノースカロライナ大学 -」
- ・7/3「縁結びの神様と占い」
- ・7/8「交換留学報告会 -梨花女子大学 -」
- ・7/12・18・24「留学生が伝えるリアルな話マレーシア」全3回
- ・サマープログラム「MAHORABA」「万葉」
- ・夏休み海外研修（フィリピン セブ島・マレーシア・シンガポール・ベトナム・オーストラリア）
- ・夏休みオンライン海外研修（フィリピン セブ島）

▶ 今後のセンター及び国際課主催イベント予定

- ・10/2「留学生オリエンテーション」
- ・10/16「ゆるゲームde交流会2 留学生Welcome Party」
- ・10月「春休み海外研修説明会 -ニュージーランド-」
- ・日程調整中「いけばな教室」
- ・日程調整中「茶道教室」
- ・日程調整中「留学生実地見学旅行」日帰りバスツアー
- ・そのほか、各言語オープントーク、異文化理解イベント等企画予定